

# 東北地方 1か月予報

(3月10日から4月9日までの天候見通し)

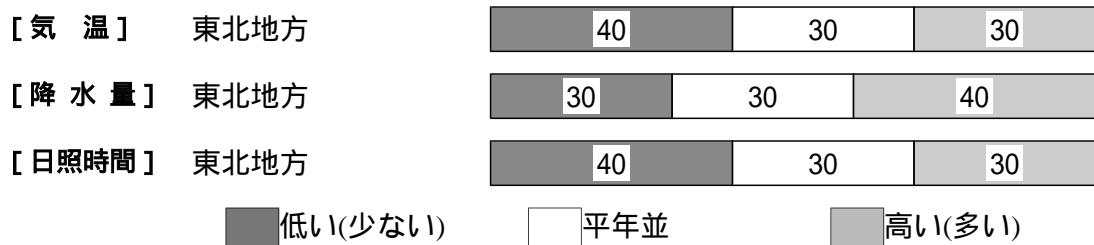
平成19年3月9日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

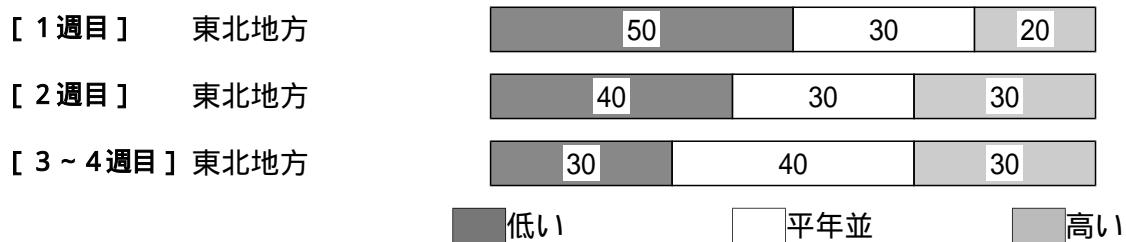
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北地方は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多いでしょう。なお、2週目にかけて低温傾向となるため、おそ霜に注意して下さい。

週別の気温は、1週目は低い確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 3月10日(土) ~ 4月9日(月)  
1週目 : 3月10日(土) ~ 3月16日(金)  
2週目 : 3月17日(土) ~ 3月23日(金)  
3~4週目 : 3月24日(土) ~ 4月6日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は3月16日  
3か月予報:3月22日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	3.6	64.7	161.5	1.4	2.5	4.5
深浦	4.2	84.8	143.1	2.1	3.0	5.1
むつ	3.0	76.0	169.4	0.8	1.8	4.0
八戸	3.9	53.0	182.5	1.7	2.7	4.9
秋田	4.8	99.1	154.6	2.6	3.7	5.8
盛岡	3.5	86.2	170.6	1.2	2.3	4.6
大船渡	4.9	111.2	172.9	3.0	3.8	5.8
宮古	4.5	94.3	187.5	2.5	3.4	5.5
仙台	5.9	84.0	187.2	4.0	4.9	6.8
石巻	5.2	79.7	192.6	3.2	4.1	6.1
山形	4.8	66.0	157.9	2.5	3.5	5.8
新庄	3.4	107.3	130.3	1.5	2.4	4.2
酒田	5.7	102.3	145.2	3.7	4.6	6.6
福島	6.5	81.8	183.5	4.3	5.3	7.4
若松	4.7	66.1	151.1	2.4	3.5	5.8
白河	5.2	85.7	183.3	3.1	4.0	6.1
小名浜	7.4	120.7	187.2	5.8	6.5	8.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2 ~ +0.3	86 ~ 112	97 ~ 106
東北日本海側	-0.2 ~ +0.3	88 ~ 108	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.3	83 ~ 118	97 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.6

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成19年3月9日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月10日~4月9日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多いでしょう。なお、2週目にかけて低温傾向となるため、おそ霜に注意して下さい

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(3月10日~3月16日):

東北日本海側は寒気や気圧の谷の影響で雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に概ね晴れますが、気圧の谷の影響で明後日(11日)と期間の終わりは曇りや雨または雪の見込みです。なお、期間のはじめは、発達した低気圧の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は低い確率が50%です。

2週目(3月17日~3月23日):

天気は数日の周期で変わりますが、一時的に寒気が南下し、冬型の気圧配置となる日もあるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(3月24日~4月6日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。前線や気圧の谷の影響で東北地方は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

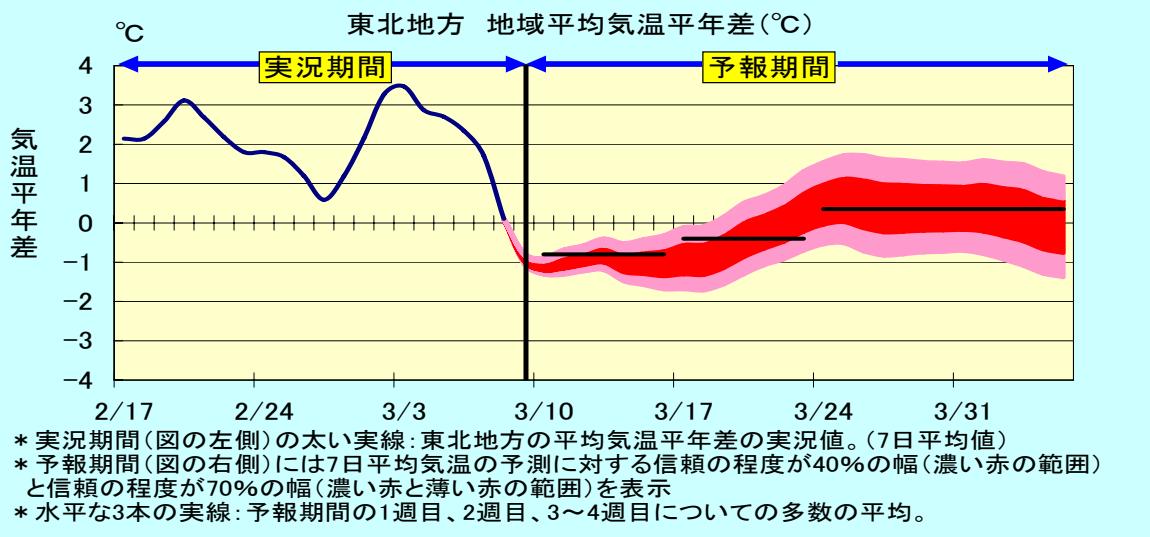
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.5日	2.8日	3.3日	7.4日
東北太平洋側	17.7日	4.5日	4.4日	8.8日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目と3~4週目は、平年並付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は小さい。

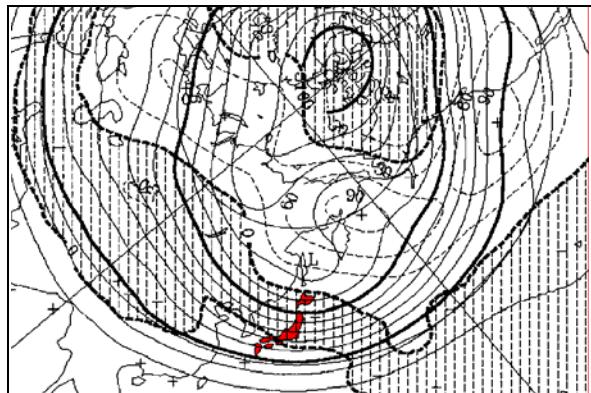


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**：日本の北からアリューシャン列島付近と北米西部には明瞭な正偏差が分布し、カムチャツカ半島の北東には強い正偏差がある。中緯度は大陸から太平洋にかけて負偏差の領域が帶状に広がり、日本付近も西日本の一部を除いて負偏差だが、程度は弱い。

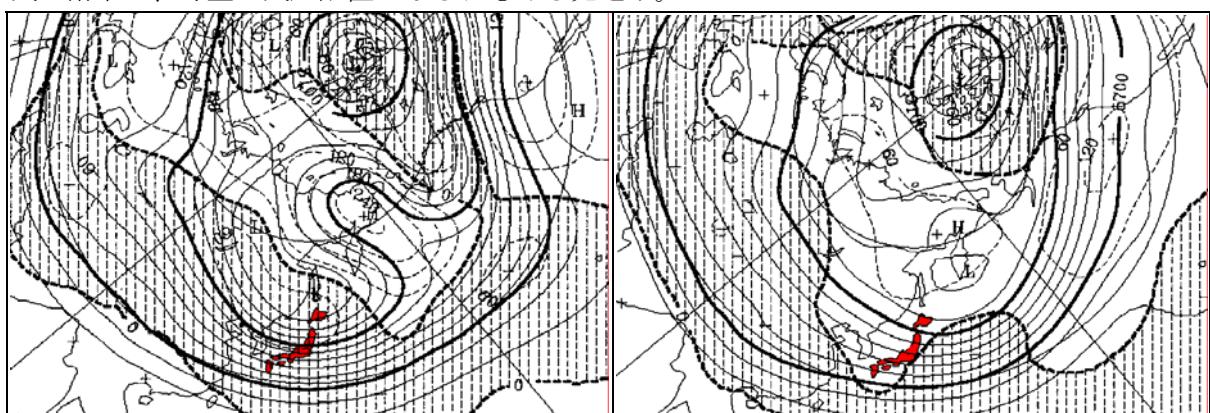
**1週目**：日本を含む中緯度は大陸から太平洋にかけて広く負偏差となる。極東の高緯度は偏西風の蛇行が大きく、ベーリング海ではブロッキング高気圧が発達している。日本付近に持続的に寒気が南下する可能性がある。

**2週目**：1週目に比べカムチャツカ半島付近のブロッキングは弱まる。日本付近は弱い正偏差だが、日本の東には負偏差域が広がり、一時的に寒気が南下し、冬型の気圧配置となる日もある見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

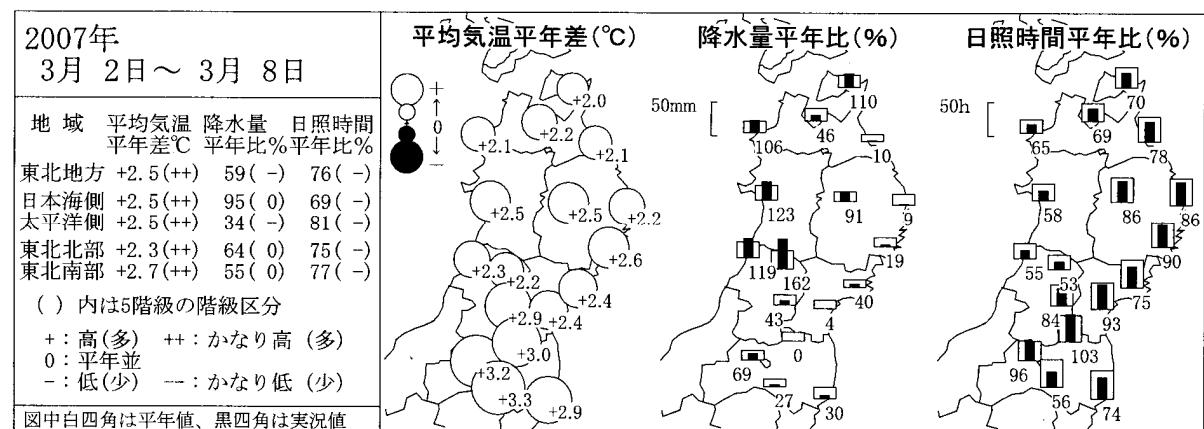
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）  
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間（3月2日～3月8日）の天候の経過

この期間、2～3日にかけては高気圧に覆われて晴れたが、5日の夜に日本海低気圧が猛烈に発達しながら北東進して北海道の西に進み、低気圧に伴う寒冷前線が東北地方を通過したため天気が崩れた。6日以降は冬型の気圧配置となって東北地方の上空に強い寒気が流入したため、東北日本海側を中心に雪が降り、7日を中心に各地で気温が低くなった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）